



社会福祉法人

内潟療護園

**社会福祉法人 内潟療護園**

〒037-0308 青森県北津軽郡中泊町大字深郷田字甘木 120 番地 2

TEL0173-57-3100 FAX0173-57-3102

ホームページ <http://uchigata.or.jp>

# 誰もがひとりの人間として

障がいがあっても、高齢者であっても、すべての人がひとりの人間として  
人格の尊厳を保障されなければならない  
利用者・家族・地域住民・職員が  
笑顔ですごせる地域社会づくりをめざしています

## 理 念

『 一人ひとりが人として豊かに 』

## 基本方針

1. 津軽地域の福祉の拠点をめざす
2. 一人ひとりの権利を尊重する
3. ニーズに対応した地域貢献を実施する
4. 職員の幸せと誇りのある介護集団を目指す

### 社会福祉法人 内潟療護園 沿革

昭和 55 年 5 月	社会福祉法人 幸友会（現：内潟療護園）設立
昭和 56 年 4 月	身体障害者療護施設 内潟療護園 開設
昭和 59 年 2 月	東南アジア福祉従事者国際交流：シンガポール（以後、ネパール、タイ、インド、韓国等 H6 まで継続）
昭和 60 年 7 月	デイサービス 実施
昭和 61 年 8 月	青年海外協力隊へ職員派遣：ガーナ（S62.3 再派遣）
昭和 62 年 8 月	あんぜん電話 開始
平成元年 3 月	社会調査実施：①在宅福祉ニーズ調査 ②ボランティアアンケート調査
平成元年 8 月	ワークキャンプ受入れ 開始
平成 3 年 6 月	ケララ奨学金運動 開始
平成 5 年 4 月	オンブズマン委員会 発足
平成 7 年 4 月	総合福祉センター きりん館 開設
平成 8 年 4 月	ホームヘルパー派遣事業 開始
平成 8 年 8 月	スウェーデン福祉施設 視察研修
平成 14 年 2 月	グループホームきりん館（認知症対応型生活介護） 開設
平成 14 年 4 月	通所療護（B 型） 開設
平成 16 年 12 月	第二うちがた 開設（五所川原市）
平成 18 年 4 月	太刀打しあわせセンター（相談支援事業） 開設（五所川原市）
平成 18 年 10 月	中泊町地域包括支援センター 受託 開設
平成 19 年 3 月	介護員養成研修事業 開始（五所川原市）
平成 21 年 3 月	ひだまり工房（生活介護・機能訓練） 開設（五所川原市）
平成 22 年 6 月	臨時職員 36 名を正職員登用
平成 22 年 12 月	きりん館消防協力隊 結成
平成 23 年 2 月	ケアホームうるしかわ（共同生活援助） 開設（五所川原市）
平成 24 年 2 月	うちがた工房（生活介護・機能訓練） 開設（中泊町）
平成 26 年 4 月	障がい者支援施設 内潟療護園 新築移転（中泊町深郷田）
平成 29 年 4 月	地域密着型 特別養護老人ホーム きりん館 開設

## 事業所紹介

中泊町深郷田拠点	中泊町若宮拠点	五所川原拠点
<b>社会福祉法人 内潟療護園</b> 本部  〒037-0308 北津軽郡中泊町大字深郷田字甘木 120-2 電話 0173-57-3100 Fax 0173-57-3102	<b>特別養護老人ホーム きりん館</b> ユニット型個室・短期入所  〒038-0318 北津軽郡中泊町大字田茂木字若宮 1933 電話 0173-58-3181 Fax0173-69-3315	<b>障がい者支援施設 第二うちがた</b> 生活介護・入所支援・短期入所  〒037-0017 五所川原市大字漆川字浅井 124-1 電話 0173-38-3491 Fax0173-38-3498
<b>障がい者支援施設 内潟療護園</b> 生活介護・入所支援・短期入所 〒037-0308 北津軽郡中泊町大字深郷田字甘木 120-2 電話 0173-57-3100 Fax0173-57-3102	<b>内潟療護園 デイサービスセンター</b> 通所介護 〒038-0318 北津軽郡中泊町大字田茂木字若宮 1933 電話 0173-58-3001 Fax0173-69-3315	<b>ケアホームうるしかわ</b> 共同生活援助 〒037-0017 五所川原市大字漆川字浅井 122-1 電話 0173-26-6570 Fax0173-26-6571
<b>内潟療護園 ホームヘルプセンター</b> 訪問介護、居宅介護 〒037-0308 北津軽郡中泊町大字深郷田字甘木 120-2 電話 0173-57-3100 Fax0173-57-3102	<b>うちがた工房</b> 生活介護・機能訓練 〒038-0318 北津軽郡中泊町大字田茂木字若宮 1933 電話 0173-58-3001 Fax0173-69-3315	<b>ひだまり工房</b> 生活介護・機能訓練 〒037-0091 五所川原市大字太刀打字早蕨 115-6 電話 0173-33-8085 Fax0173-33-2324
	<b>障害者福祉ホーム きりん館</b>  〒038-0318 北津軽郡中泊町大字田茂木字若宮 1933 電話 0173-58-3001 Fax0173-69-3315	<b>しあわせセンターうるしかわ</b> 相談支援 〒037-0017 五所川原市大字漆川字浅井 122-1 電話 0173-34-7964 Fax0173-26-6571
	<b>内潟療護園 相談センター</b> 居宅介護支援 〒038-0318 北津軽郡中泊町大字田茂木字若宮 1933 電話 0173-58-3001 Fax0173-69-3315	
<b>中泊町地域包括支援センター</b> <b>小泊支所</b> 〒037-0511 北津軽郡中泊町大字小泊字砂山 1144 電話・Fax0173-64-2003	中泊町委託事業 <b>中泊町地域包括支援センター</b> 〒037-0305 北津軽郡中泊町大字中里字宝森 1-2 電話 0173-57-3601 Fax0173-57-3602	

### 本部・内潟療護園（中泊町深郷田拠点）



## 人材確保・人材育成への取組み

### 1. 職員に優しい職場環境への取組み

①	同一労働同一賃金への対応 (令和2年4月から実施)	働き方改革関連法施行の一環で改正となった「短時間労働者及び有期労働者の雇用管理の改善等に関する法律」いわゆる同一労働同一賃金の施行と同時に、法人の就業規則や給与規程を大幅に改正し、正規職員と非正規職員との均等・均衡待遇を実施した
②	職員の健康管理 (青森県健康経営事業所認定)	法定健診の確実な実施、更には法定外健診の受診を奨励し、職員の健康管理を実施する。また受動喫煙防止のため分煙対策を徹底する (令和2年5月青森県健康経営事業所に認定)
③	働き方改革関連法への対応 (令和元年4月から実施)	働き方改革法案へ迅速に対応し、職場環境を整えることにより、人材確保と職員の資質向上を図る ■残業時間の上限規制 ■休暇取得の義務化 ■勤務間インターバル
③	仕事と子育ての両立支援	各種法令(育児・介護休業等に関する規程等)を遵守し、休業中や仕事復帰前のサポートを含めた仕事と子育ての両立支援を実施する

### 2. 新任職員の育成

①	新任者育成計画による育成	新任者育成の年間スケジュールを作成 月ごとの「育成目標・OJT・OFF-JT」を定めたスケジュール その計画に基づいた新任者育成を実施
②	新任者研修の実施	入職時に新任者研修を実施 法人理念・就業規則・給与規程・介護技術・救急法・外部研修等 現場配置が容易に進むよう配慮する
③	エルダー制度	現場配置後は、新任職員の育成を担当する、育成担当者及びエルダーを指名し、きめ細かい指導による育成を図る

### 3. 資格取得の支援制度

①	奨学金貸与制度 (実績1名:正看護師)	法人が定めた資格を取得して、法人の経営する施設での就職を希望する者に対して一定の期間について奨学金(上限月5万円)を貸与する制度 ※法人が定めた資格:看護師、准看護師、理学療法士、管理栄養士、介護福祉士等
②	資格取得助成規程 (令和元年実績2名)	法人で勤務する職員が、法人が定めた資格を取得する際に、費用負担(上限あり)や勤務調整等により支援を行う制度 ※法人が定めた資格:看護師、准看護師、理学療法士、管理栄養士、介護福祉士等

### 4. その他

①	年間研修計画	それぞれの職位の職務・職責に応じた研修計画を立案、また、職員本人の意見も取り入れながら研修参加をし、資質の向上を目指す
②	職場内勉強会	年間計画及び臨時に周知が必要なことについて勉強会を実施する
③	福祉教育	施設全体を福祉教育の場としてとらえ、訪れる子供たちに施設を開放し、福祉分野の理解を深めていただく
④	実習生の受け入れ	施設の開設当初から大学生及び専門学校生の実習を受入れしている。実習指導の資格を取得した者を各拠点に配置し、将来福祉の現場を背負っていく実習生を支援している

## ■ オンブズマン委員会について

内潟療護園は、平成5年に民間社会福祉施設としては日本で最初に「施設オンブズマン制度」をスタートさせました。そのオンブズマン委員会は現在も4名のオンブズマン委員が隔月で来園され、利用者一人ひとりに声をかけて、苦情や意見、要望があれば話を聞いていただいております。その内容については、個人のプライバシーを保護し、所属長に報告されて改善の要求がされます。所属長は、その改善要求についてどのように対応したのかをオンブズマンに回答するという仕組みになっています。

また、この内容については機関誌や施設のHPで公表しています。

## ■ 地域貢献活動について

地域貢献活動とは、地域に密着して行う「社会貢献活動」をいう（ウィキペディアより）。身体障害者療護施設（現・障害者支援施設）の開設以来、地域福祉への貢献を目標の一つに掲げてきました。地域貢献活動は、本来の身体障害者療護施設の運営を阻害するものではありません。社会福祉事業を生業とする社会福祉法人にとって、本来事業と地域貢献活動は、車の両輪関係と言えるものです。現在も継続している地域貢献活動の事例を分野別にまとめました。

分野	活動	活動内容
教育	福祉ワークキャンプの受入れ	平成元年、第1回「福祉協力校ワークキャンプ」(2泊3日)受入れ。同年、木造町高校生ワークキャンプ(2泊3日)受入れを開始。以来、児童生徒の福祉ワークキャンプを毎年積極的に受入れしている。
	実習生の受入れ	昭和59年の青森大学社会福祉学科の学生受入れをはじめに、これまで多数の福祉や介護、看護の実習生を受入れしている。
	学校教育サポーター	子供たちの職場見学やインターシップの受入れ先として登録。
安全 安心	配食サービス	糖尿病の障がい者へ糖尿病食を調理して配達。
	消防協力隊	地域住民による消防協力隊を組織し、支え合う地域防災に取り組んでいる。
	交通安全キャンペーン	第二うちがたの利用者が、地域の人たちとマスコットを配って交通安全の呼びかけキャンペーンに参加している。
景観	ひまわり畑	婦人会とともに内潟療護園の土手や地域4カ所にひまわりを植え、夏になると一面のひまわりが好評。
地域の 活性化	安定雇用の確保	平成29年度より新卒職員を初年度から正職員として採用。また、その他の準職員についてはこれまでどおり正職員に登用する制度を継続して実施している。
	地元企業との取引を重視	同品質であれば、少し高くても地元の商店と取引(一部の食品や燃料等)。
	なたね栽培の推進	転作作物のなたねを買い付け、抽出して「なたね油」を販売。
	ボランティアの受入れ	開設以来30年間で延べ3万人以上のボランティアを受け入れている。
その他	ごみ収集所の場所を提供	第二うちがた駐車場の一角を町内のごみ収集置き場に貸出。
	施設周辺ゴミ拾い	施設近辺のゴミ拾いを利用者とともに実施している。
	地域交流室の開放	ケアホームうるしかわに地域交流を目的とした会議室を設置し貸出している。
	ペットボトルキャップ、アルミ缶の収集	エコ活動をしている団体に協力。ペットボトルキャップやアルミ缶を収集。

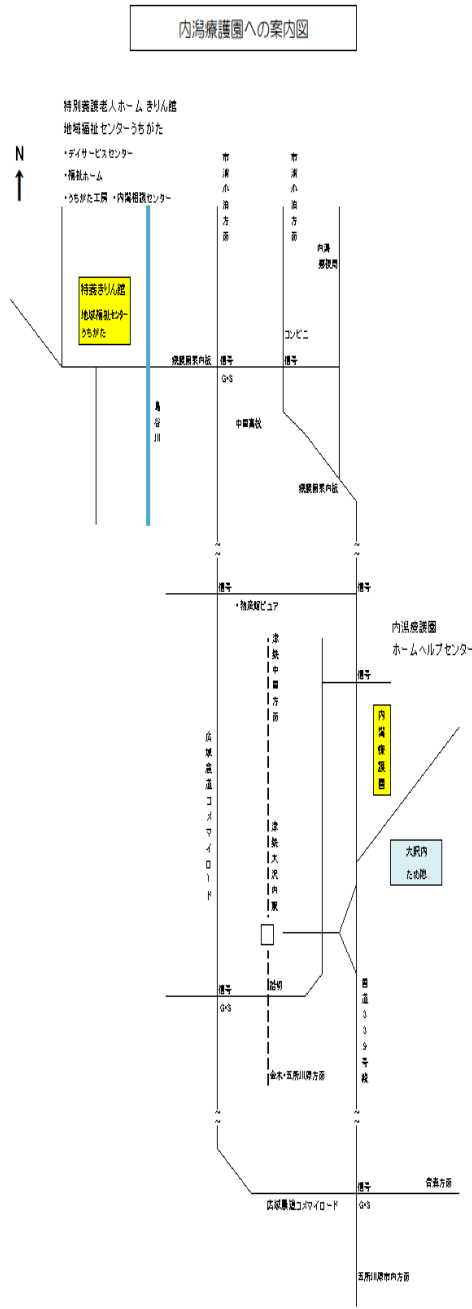
特別養護老人ホーム きりん館



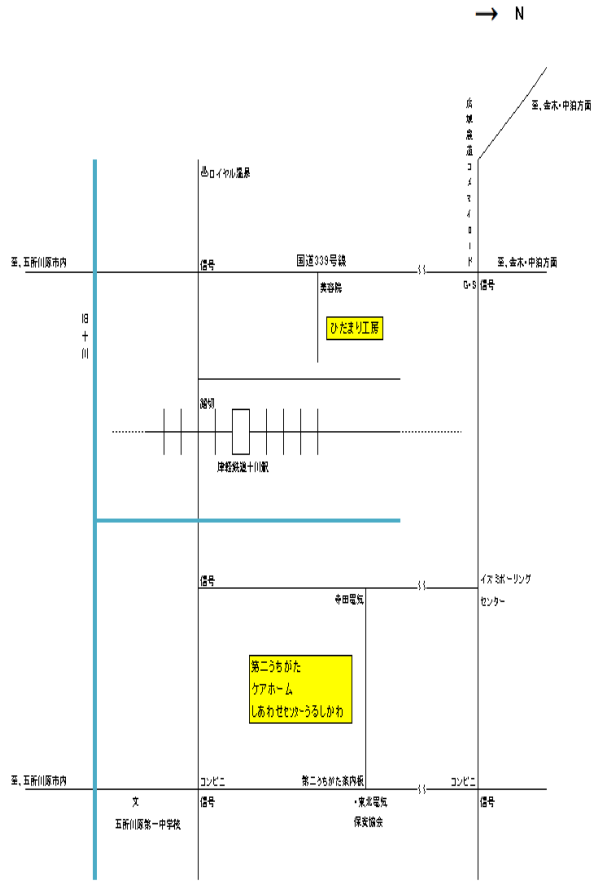
障がい者支援施設 第二うちがた



施設案内図



第二うちがたへの案内図



〒037-0308 青森県北津軽郡中泊町大字深郷田字甘木 120 番地 2  
 Tel0173-57-3100 Fax0173-57-3102  
 ホームページ <http://uchigata.or.jp> メールアドレス [uchigata@jomon.ne.jp](mailto:uchigata@jomon.ne.jp)  
 個人情報保護法に基づき、個人情報の取扱いに関する基本方針を作成し、遵守しております